

2025年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
国語	論理国語 (後半)	2	3年次	三鹿裕明・土橋芳範			
選択するときの条件	3年次に全員共通履修						
使用教科書	(数研出版) 精選 論理国語	使用副教材	(数研出版) 「精選 論理国語 準拠ワーク」 (第一学習社) 「新訂総合国語便覧」 (桐原書店) 「入試漢字コア2800改訂版」				
科目の目標			道徳教育のねらい				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。				
学習活動内容		育てたい6つの力(資質・能力)					
		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自他認知 ・協働力	計画 実行力
1	考えの表出		○		◎	○	
2	異文化と普遍	○			○	◎	
3	情報と知性	○		○		◎	
4	環境と人間			◎	○	○	
5	思索の深化			◎	○	○	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
24							
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度			
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。			
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。						
	A: 目標に対する到達度が70%~100%		B: 目標に対する到達度が45%~69%		C: 目標に対する到達度が0%~44%		
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組	提出物	考査		
	知識・技能	◎	○		◎		
思考・判断・表現	○	◎		○	◎		
主体的に学ぶ態度	○			◎			

論理国語 授業計画

授 業 計 画					実施状況		
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容	単元実施時数		実施反省	
				読む	書く		
前 期	4 (5)	・オリエンテーション (1)	・学びの目的と学習の概要を理解する。	・授業についてのガイダンス	1		
	5 (8)	・日本語は非論理的か (7)	・筆者の考えを捉え、扱われているテーマについて思考を深める。	・筆者の考えを根拠とともに読み取る。文章を読み比べ、考察した内容をまとめる。	2	5	
		・「安楽」への全体主義 (5)	・筆者の主張を理解し、それが現代にも当てはまるかどうか批判的に考察する。	・筆者の考えを根拠とともに読み取り、考察した内容をまとめる。	3	2	
	6 (6)	前期中間考査 (1)			1		
	7 (4)	・「空気」と「世間」 (5)	・同じテーマに関する分を読み比べ、自分の思考を深める。	・筆者の考えを根拠とともに読み取る。文章を読み比べ、考察した内容をまとめる。	2	3	
		・越えていく翻訳 (4)	・筆者の考えを捉え、扱われているテーマについて思考を深める。	・筆者による現状分析と、そこから導かれる課題を読み取る。	3	1	
	8 (4)	・学問の政治性 (4)	・筆者の考えを捉え、扱われているテーマについて思考を深める。	・筆者による現状分析と、そこから導かれる課題を読み取る。	3	1	
	9 (7)	・メディアのテロル (6)	・筆者の考えを捉え、扱われているテーマについて思考を深める。	・筆者による現状分析と、そこから導かれる課題を読み取る。	3	3	
	前期期末考査 (1)					1	
	後 期	10 (8)	・環境と心の問題 (4)	・筆者の考えを捉え、扱われているテーマについて思考を深める。	・筆者による現状分析と、そこから導かれる課題を読み取る。	2	2
11 (8)		・エコロジーのミューズを求めて (4)	・筆者の考えを捉え、扱われているテーマについて思考を深める。	・筆者による現状分析と、そこから導かれる課題を読み取る。	2	2	
		・「であること」と「すること」 (7)	・「である」「する」という言葉から導かれる筆者の問題意識を読み取る。	・「である」「する」という言葉から導かれる筆者の問題意識を読み取り、説明する。	6	1	
後期中間考査 (1)					1		
12 (6)		・人はなぜ働かなくてはならないのか (6)	・筆者の考えを捉え、扱われているテーマについて思考を深める。	・筆者の考えを根拠とともに読み取る。資料と合わせ読み、考察した内容をまとめる。	4	2	
1 (4)	・希望を語る (4)	・筆者の考えを捉え、扱われているテーマについて思考を深める。	・筆者の考えを根拠とともに読み取る。資料と合わせ読み、考察した内容をまとめる。	1	3		